

万博記念公園 自然ものがたり①

園内の“自然ふれあい”を紹介するページ

(公社)大阪自然環境保全協会

万博記念公園・生きもの見わけ方講座(上)

水生生物・トンボ

	2012年の日程	講座のテーマ
1	6月17日(日)	トンボ
2	7月 1日(日)	水生生物
3	8月 5日(日)	セミ・チョウ
4	9月16日(日)	シダ
5	10月14日(日)	キノコ
6	11月11日(日)	植物
7	12月 2日(日)	野鳥



万博記念公園の身近な生きものや植物に親しみ、その特性などを学び、基本的な見分け方のノウハウを身につける講座です。園内の“生きもの調査”にボランティアで参加していただくこともめざしています。

園内の自然をよく知る専門家から、実際のフィールドで自然に触れながら生きものについて詳しく調べ、あっという間に時間が過ぎて楽しかったとの感想に加え、冬季にも実施して欲しいとの希望もありました。



受講生たちの一言感想

- ◇ トンボはあまりいなかったけど、モリアオガエルの卵やヤゴやいろいろ見て教われて良かったです。
- ◇ 先生のお話がとても興味深かったです。ホタル、トンボ、生きるというのは大変だ。
- ◇ 谷先生のユーモアを交えた解説がわかりやすく、楽しく学習できました



トンボ・水生生物



セミ・チョウ



- ◇ 雨なので歩くのが少なかったのですが、展示で実物をじっくり見れて、楽しい話も聞けて来てよかったと思いました。
- ◇ 水生生物は多く見れなかったが、谷先生の楽しい会話にひきつけられ学ぶことができました。雨が降らずトンボを見れたらもっと良かったのですが…残念。



公園内では一般来園者の生物の捕獲は禁じられています。

- ◇ 近くで虫を良く観察すると図鑑ではわからない様子がよくわかり、感動しました。先生の説明もとても面白く楽しかったです。虫はとても美しいです。
- ◇ チョウの動きがおもしろかった。セミも抜け殻調べで(アブラ、クマ、ニイニイ)ゼミの特徴がよくわかった。チョウ、トンボを追いかけるのも楽しめました。
- ◇ 昆虫の調査の方法を体験できて勉強になりました。
昆虫の住みやすい環境が万博公園だけでなくどこでも守られてほしい(守っていききたい)
抜け殻はとり易く、子どもでも調査に参加できるので良い方法だと思いました。